

子どもたちの依存症をめぐる状況とその支援

依存症とは、特定の何かに心を奪われ、「やめたくても、やめられない」状態になることです。繰り返す、より強い刺激を求める、やめようとしてもやめられない、いつも頭から離れないなどの特徴をもっています（厚生労働省）。子どもたちをめぐる依存症の問題として、話題になりがちなのは、「スマホ依存・ゲーム依存・ネット依存」です。また、オーバードーズ（一般用医薬品の乱用）などの薬物乱用やリストカットなどの自傷行為も依存症に関係してくるといわれています。ただ、依存そのものが悪いわけではありません。自立とは「依存先を増やすこと」との指摘もあります。精神科医の松本俊彦氏は、「孤立している者ほど依存症になりやすく、依存症になるとますます孤立する。だから、まずはつながることが大切なのだ」と述べています。私たち大人は、依存症におちいりがちな子どもたちの状況をどう理解し、どうつながればいいのか。

今回のワークショップでは、子どもたちの依存症をめぐる状況の理解とその支援のあり方について、本県における思春期青年期精神医学の第一人者である山崎正雄先生を講師にお迎えし、考えてみたいと思います。

※昨年度も同内容でワークショップを実施する旨を案内させていただきましたが、諸事情により中止となったことを受け、今年度あらためて実施し、案内させていただきます。

1. 主 催

日本学校教育相談学会高知県支部

2. 後 援

高知県教育委員会（申請中）

高知市教育委員会（申請中）

3. 日 時

令和7年11月1日（土） 午後3時 受付（午後3時30分 開会）

4. 会 場

太平洋学園高等学校（〒780-0061 高知市栄田町1丁目3番8号）

5. 内 容

15:30～17:30

〈講演〉

「子どもたちの依存症をめぐる状況とその支援」

6. 講 師

山崎 正雄 先生【高知県立精神保健福祉センター 所長】

〈講師プロフィール〉

山崎 正雄先生は、高知県の精神保健福祉センター所長として、これまで多くの子ども



もたちを支援されてきた先生です。時にあたたかく、時にはするどい語り口は当支部主催の研修会でも好評を博し、これまで何度もケース会で助言をいただいています。

7. 対 象

公立・私立の学校教職員、スクールカウンセラー、他教育関係者等

8. 参加費

無料

9. 定 員

40名（定員に達し次第、締め切らせていただきます。）

10. 参加申し込み

下の二次元コードリンク先に必要事項を入力、送信し、申込みください。二次元コードでの申込みが難しい場合は下記の事務局連絡先までご相談ください。令和7年10月24日（金）までに申し込んでください。

11. その他

- ・悪天候等により会を中止する場合があります。その際は下に記載の支部ブログページ及び Facebook ページにてお知らせします。状況に応じて確認ください。

参加申込み及びワークショップに関する問い合わせ先

日本学校教育相談学会 高知県支部 事務局

〒780-0061 高知市栄田町1丁目3番8号

太平洋学園高等学校 光富 祥

Tel：088-822-3584

e-mail：kochi.jascg@gmail.com

（二次元コードで参加申し込み）



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSckKLjgCeKdeTmY7802qk6LML0VPSAdBbDs7oe5oKsrRsTlRg/viewform?usp=header>

日本学校教育相談学会高知県支部のページが開設されています

日本学校教育相談学会高知県支部では、研修会等の情報発信のためにブログページと Facebook ページを開設しています。今後も研修会等の案内や支部会員に向けた情報発信等を行いますので、教育相談に興味のある方は是非ごらんいただき、よろしければお気に入り登録してください。

ブログページ (<https://ameblo.jp/kochi.jascg/>)

Facebook (<https://www.facebook.com/kochi.jascg>)



ブログページ



Facebook ページ